

■VE資格別スキル領域

次の表は、VEリーダー、VEスペシャリスト、CVS資格取得を目指す方々の指針として設定したVEスキルの領域を表したものです。

●は資格別に発揮するスキル領域を示しています。

VEを活用する場合は、VE対象を理解した上でこれらのスキルを発揮してほしいと考えています。

スキル領域			資格			
領域区分	内容		VEL	VES	CVS	
VEの実施手順	既存システム(製品・サービス) 改善へのアプローチ	機能定義段階	VE対象の情報収集の計画を立てることができる		●	●
		計画に基づいて情報が収集できる	●	●	●	
		収集した情報を整理できる	●	●	●	
		収集した情報が必要かつ十分であることを確認できる		●	●	
		VE対象を適切な構成要素に分割できる		●	●	
		適切な機能の定義ができる	●	●	●	
		機能の定義の妥当性を判断できる		●	●	
		適切な機能系統図の種類を選定できる			●	
		適切な機能の整理ができる	●	●	●	
		機能系統図の妥当性を判断できる		●	●	
		VE対象に応じた機能定義段階の指導ができる		●	●	
		機能評価段階	妥当な現行コストの情報源を把握できる			●
		構成要素と機能分野の関連を明確にできる	●	●	●	
	機能別コスト分析で用いる配賦計算の方法を選択できる		●	●		
	構成要素の現行コストを機能分野に配賦できる	●	●	●		
	適切な機能の評価方法を選択できる		●	●		
	機能評価値を算定できる	●	●	●		
	機能評価値の妥当性を判断できる		●	●		
	価値の程度とコスト低減余地を算出できる	●	●	●		
	価値改善の優先順位を決定できる		●	●		
	機能評価の結果に基づいて適切な対応を提案できる			●		
	VE対象に応じた機能評価段階の指導ができる		●	●		
	代替案作成段階	機能系統図上でアイデア発想機能を決定できる		●	●	
	アイデア発想で活用する技法を選択できる		●	●		
	機能本位にアイデア発想ができる	●	●	●		
	アイデアの概略評価ができる	●	●	●		
	アイデアの概略評価の適否を判断できる		●	●		
	アイデアの具体化ができる	●	●	●		
	詳細評価を計画できる		●	●		
	代替案の詳細評価ができる	●	●	●		
	技術性と経済性の評価結果から、提案すべき代替案を決定できる		●	●		
	裏付け資料の適否を判断できる			●		
	VE対象に応じた代替案作成段階の指導ができる		●	●		
	既存システムのVE提案	VE対象に応じて提案内容を決定できる		●	●	
	被提案者に応じて提案内容を決定できる		●	●		
	決まった提案内容について提案資料を作成できる	●	●	●		
	提案内容を簡潔に伝え、質問に的確に回答できる		●	●		
	要求された提案方法(記述と口述)に対応した準備ができる	●	●	●		
	提案資料の良否を判断できる			●		
	VE対象に応じたVE提案作成の指導ができる			●		

領域区分		内容	VEL	VES	CVS	
VEの実施手順	新規システム(製品・サービス) 開発へのアプローチ	機能定義段階	VE対象の要求事項調査を計画できる		●	●
			計画に基づいて要求事項調査ができる		●	●
			収集した要求事項を整理できる		●	●
			新規システムに盛り込む要求事項を決定できる			●
			開発設計の各段階において要求事項を細分化できる		●	●
			開発設計の各段階に応じて機能を定義できる		●	●
			必要機能の定義ができる		●	●
			必要機能の定義の適否を判断できる			●
			必要機能の整理ができる		●	●
			必要機能の整理の適否を判断できる			●
			VE対象と段階に応じた機能定義段階の指導ができる			●
			機能評価段階	適切な機能の評価方法を選択できる		●
		機能別目標コストを設定できる			●	●
		VE対象に応じた機能評価ができる			●	●
		機能別目標コストの妥当性を判断できる				●
		着手順位の決定ができる			●	●
		VE対象と段階に応じた機能評価段階の活動を指導できる				●
		代替案作成段階	機能系統図上でアイデア発想機能を決定できる		●	●
			アイデア発想で活用する技法を選択できる		●	●
			機能本位にアイデア発想ができる		●	●
			アイデアの概略評価ができる		●	●
			アイデアの概略評価の適否を判断できる		●	●
			アイデアを総合化できる		●	●
			総合案を具体化できる		●	●
			総合案の評価を計画できる		●	●
			総合案を評価できる		●	●
			VE対象に応じた総合案の仕様項目を設定できる			●
			VE対象と段階に応じた代替案作成段階の活動を指導できる			●
			新規システムのVE提案	VE対象に応じて提案内容を決定できる		●
		被提案者に応じて提案内容を決定できる			●	●
		決まった提案内容について提案資料を作成できる			●	●
		提案内容を簡潔に伝え、質問に的確に回答できる			●	●
		要求された提案方法(記述と口述)に対応した準備ができる			●	●
		提案資料の良否を判断できる				●
		VE対象と段階に応じたVE提案作成の指導ができる				●

領域区分		内容	VEL	VES	CVS		
VE適用における 総合的な管理	VE適用方針・目標	長・中期経営計画を前提に長・中期VE方針・目標を設定できる			●		
		短期経営計画を前提に短期VE方針・目標を設定できる			●		
		VE推進組織の確立	VE方針・目標を達成するための推進組織を編成できる			●	
		VE方針・目標を達成するためのVE推進組織の役割を設定できる			●		
		VE推進組織の運営手続きを計画・推進できる			●		
		VE実践計画と統制	VE適用方針・目標達成のための期間計画を設定できる			●	
			VE推進者に期間計画を伝達し、動機づけできる			●	
			実践活動の実施状況を把握し、VE適用方針・目標達成の可能性を判断できる			●	
			VE適用方針・目標達成のための活動を調整できる			●	
		VE推進の評価	VEの期間計画の成果の達成度を評価できる			●	
			VE推進組織の役割の達成度を評価できる			●	
			評価結果を次期の計画に活用できる			●	
	VE情報の収集と活用	VE活動で活用する情報を収集・加工・蓄積できる			●		
		VE活動で活用する情報を収集・加工・蓄積する仕組みを構築できる			●		
	協力企業でのVE適用	協力企業とのVE提案制度を企画できる			●		
		協力企業とのVE提案制度の手続きを設定できる			●		
		協力企業へVE適用を指導できる			●		
	VEの普及・教育	VEの普及	普及活動を企画できる			●	
			企画内容を実践できる			●	
		VE教育	VE教育の体系を構築できる			●	
			VE教育の講師を育成できる			●	
			経営者・管理者向け教育を企画・実施できる			●	
			従業員向け教育を企画・実施できる		●	●	
			協力企業向け教育を企画・実施できる			●	
			VEワークショップセミナーを企画・実施できる			●	
			既存システムのVE実践活動を指導できる		●	●	
			新規システムのVE実践活動を指導できる			●	
			VEに関する研究・開発を指導できる			●	
			特定対象への VE適用の管理	VE適用の計画	VE対象を選定できる		●
		VE対象の目標を設定できる				●	●
		VE対象の検討チームを編成できる				●	●
		VE対象検討の日程と工数を計画できる				●	●
	VE実施方法を計画できる				●	●	
VE適用計画の適否を判断できる					●		
VE適用の実践・統制	チームメンバーへの計画の伝達と動機づけができる			●	●		
	チームリーダーとしての役割を果たすことができる			●	●		
	VE対象へのVE適用状況の報告手続きを設計・設定できる			●	●		
	VE対象へのVE適用状況を把握できる			●	●		
	VE対象のVE適用状況と目標の差異を評価できる			●	●		
	VE対象のVE適用状況と目標の差異を是正できる			●	●		
	VE適用の統制の適否を判断できる				●		
VEフォローアップ	代替案の実施計画を策定できる			●	●		
	代替案の実施計画の実施状況を統制できる			●	●		
	VEフォローアップの適否を判断できる				●		
実践活動結果の評価	VE対象の目標達成度を評価できる			●	●		
	VE対象のチーム活動実績を評価できる			●	●		
	実践活動結果の評価の適否を判断できる			●			